

幸せな社会



謹賀新年



もくじ

- ② 新年ご挨拶
- ③ 移動についての学習会、居場所「シエスタ」
- ④ **特集** みなさまの 知りたい 聞きたい
福祉の学びをお手伝いします
- ⑤ 成年後見制度講演会、地域貢献・社会貢献のカタチ
- ⑥ 第4期地域福祉実践計画 令和3年度事業評価
- ⑦ 寄付報告、福祉センターからのお知らせ
- ⑧ ボランティア掲示板

福祉を学ぶ 出前授業

写真は、社協職員が市内4大学合同講義「江別学」で
出前授業を行った様子。

(関連4ページ)



発行 社会福祉法人 **江別市社会福祉協議会**

江別市錦町14番地87 江別市総合社会福祉センター内
☎ 011-385-1234 Fax 011-385-1236
ホームページ <http://www.ebetsu-shyakyo.jp>
メール Social-Welfare@ebetsu-shyakyo.jp

社協だより「幸せな社会」は、1月・4月・7月・10月に発行しています。

2023

1 月

No. 208

佐藤 功
つとむ



迎春



武田 正義
まさよし

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。
旧年中は、本会の事業推進にあたたかいご支援とご協力を賜り、役員並びに職員一同を代表し、厚く御礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症の長期化は、孤独・孤立や雇用の不安定などによる生活困窮者といった新たな課題を顕在化し、こうした地域社会の変容に対し、本会は様々な生活上の課題を抱え、福祉の支援を必要とする人に対しての生活相談や生計維持の支援に努めてまいりました。現在は、少しずつ日常を取り戻しつつある一方、いまだ警戒心をもって日常を送られている方も多くいらっしゃると思っています。

本会といたしましては、これまで中止せざるを得なかった地域福祉活動でしたが、感染対策をしっかりとしただで徐々に再開しています。本年こそは、一日も早く感染が収束し、コロナ禍前と同様に、皆さまと共に地域福祉活動や交流ができるようになることを切に願っております。

新しい年が皆さまにとりまして、幸せあふれる良い年になりますよう心から祈念いたしまして新年のご挨拶いたします。

年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

旧年中は、当会の活動に多くの方々より温かいご理解とご支援を賜り、心よりお礼申し上げます。

さて、昨年は依然として新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、私たちの暮らしは大きな影響を受けておりました。

毎年12月に開始する「歳末たすけあい募金」を原資として、生活にお困りの世帯へお見舞金を贈呈する「歳末見舞金贈呈事業」では、過去最大の受付件数となる等、共同募金運動が持つ市民生活を守るという役割がますます重要となってきたことを感じています。

このような社会情勢だからこそ、戦後の混乱期に「誰かの助けになりたい」という市民活動から始まった共同募金運動を通し、改めて人と人とのつながりを途切れさせぬよう努めてまいります。

本年も市民皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げますとともに、健やかかで明るい一年になりますよう心よりお祈り申し上げます。

共同募金 ~ご協力ありがとうございました~

中間実績報告 (令和4年12月9日現在)

赤い羽根募金 4,141,841円
歳末たすけあい募金 1,040,021円

最終実績は次号(4月号)で報告します。

共同募金 助成団体募集

市内の福祉充実に寄与する 令和5年度福祉事業が対象

江別市共同募金委員会では、福祉活動を目的とする民間の福祉団体に必要な費用の一部を助成しています。助成の対象は市内の福祉充実に寄与する令和5年度の福祉活動・事業です。詳しい募集内容は、社協のホームページでご確認ください。

締切 令和5年1月17日(火)
詳細 江別市共同募金委員会

☎ 385・1234

市へ令和5年度予算要望書を提出



要望書提出(左から江別市・三好昇市長、社協・佐藤功会長、田原久美子副会長、工藤祐三副会長)

第4期地域福祉実践計画の推進等を重点要望
昨年11月22日、社協正副会長が三好市長を訪問し、令和5年度の社協事業への支援について要望書を提出しました。
要望内容は、愛のふれあい交流事業等の第4期地域福祉実践計画の推進、季節保育所保育士の処遇改善、江別市総合社会福祉センター施設整備を重点とする支援を要望しました。

雪の処理情報誌 市内の除排雪などを行う事業者一覧を掲載する「えべつ雪の処理情報誌 2022-23年版」を発行しました。情報誌は社協ホームページで閲覧できます。ホームページの閲覧は、[江別市社協](#)で検索→トップページ【お知らせ】「えべつ雪の処理情報誌 22-23版」を発行しました。をクリック。

学習会「事例から考える、移動の自助と互助」開催

社協では、関係機関や団体等との協力・連携により介護が必要になっても住み慣れた地域で住み続けることができるように地域づくりを行う生活支援体制整備事業に取り組んでいます。事業を通して、通いの場への参加手段や免許返納後の生活に関する不安の声を伺ったことをきっかけに、11月29日に移動についての学習会を開催しました。

当日はNPO法人全国移動サービスネットワーク理事の下川原清美さんを講師にお招きし、全国各地の実践事例を紹介いただきました。また、個人ワークを行い、参加者から自身の市民活動等の中で感じた移動に関する困りごとや、事例紹介を受けた感想を参加者同士で共有しました。

今回は事例紹介を中心とした企画でしたが、今後各団体等で移動について具体的な取り組みや組織化を検討する際には、下川原さんもご協力いただけると力強い言葉を頂きました。



《参加者の声》

- ・移動についていろいろな方法があることがわかった。
- ・現在最も関心のある事項。高齢者が利用できる交通手段をシステム化してほしい。
- ・支援側になることも考えてみたいと思った。
- ・(移動支援をするには)やはり組織化が必要かと思う。
- ・次は、江別市内の現状について知る場や、もっと話し合う場がほしい。

体験談や趣味の話で交流



社協・くらしサポートセンターえべつでは、札幌を拠点に活動するNPO法人レター・ポスト・ウレンド相談ネットワークが主催するひきこもり当事者・ご家族向けの居場所「シエスタ」を8月から12月まで毎月1回江別市総合社会福祉センターで共同開催しました。毎回25名前後の当事者・ご家族・ピアスタッフ・支援機関の相談員等が参加されました。

ひきこもり経験を有するピアスタッフ(当事者・ご家族)からの経験談をもとにした話題提供のあとにグループに分かれて交流を深めるなど、それぞれの時間を過ごされていました。

もし、親子で参加した場合、同じ空間にいと、どんなことを話しているのか気になったり、自分の話している内容を親子どもに聞かれたくないとの気持ちや、今年度からの新しい取り組みとして、当事者とご家族の部屋を分けて語り合いの時間を設けました。

参加者からは「シエスタに参加して、初めて今までの思いを語れた」「苦しみを一人で抱えずに済む貴重な場所です」「当事者の気持ちを知ることができ、子どもへの接し方を今一度考え直してみたい」などたくさんの感想が寄せられ、来年も開催してほしいとの要望の声が多くあがっていました。

医療法人 友愛会 友愛記念病院

内科・心療内科・精神科・リハビリテーション科・歯科

(療養・認知専門) 江別市新栄台 46 番地 1

TEL(011)-383-4124 <http://www.yuainen.or.jp/>

訪問看護ステーション ゆうあい

お気軽にご相談ください。TEL(011)-380-5678

損害保険・生命保険代理業



商号：有限会社イー・エス・オフィス

〒069-0824 江別市東野幌本町19番地の1



地域に密着した保険専門店

保険サービス・ジャパンエージェンシー

保険の無料相談実施中

【営業時間】平日9:00～18:00
定休日 土曜日・日曜日・祝日

0120-74-0433

社協の相談支援事業 ●生活安定のための貸付金を活用した相談支援(地域福祉係 ☎385-1234)

●経済的困窮・失業・引きこもりなど生活上の悩みを抱えている方の相談支援(くらしサポートセンターえべつ ☎375-8987)

●成年後見制度利用の相談や申立手続支援など(江別市成年後見支援センター ☎375-8988)



特集

みなさまの知りたい 聞きたい 福祉の学びをお手伝いします

社協では、職員が地域の皆様のもとへ出向き、社協で行っている事業や取り組み、地域福祉に関して知識を深めていただくきっかけづくりとして出前講座を行っています。

今号では、昨年11月～12月に社協職員が大学等を訪問し、福祉を学ぶ授業で講話した概要をご紹介します。

11月5日
江別4大学共同授業
江別市社協の
取り組み



地域福祉係長
櫻井

札幌学院大学を会場に開講された市内4大学合同の講義「江別学」で江別市社協の取り組み、特にコロナ禍での活動についての実践事例をお話しました。

新型コロナウイルスの影響で減収・失業した世帯向けの生活費の貸付(生活福祉資金(コロナ特例貸付))は、延べ約3千件で10億8千万円を貸し付けし、連日生活再建のための相談支援を行っていること。また、ボランティア事業では、人と人との接触を伴わないボランティア活動の実践について説明しました。

学生の皆さんからは、「社会福祉協議会という名前は聞いたことがあるけれど、どのような仕事をしているのか初めて知りました」「ボランテ

ィア活動をしてみようと思ったら、社会福祉協議会に連絡すると相談に乗ってもらえるんですね」と感想が聞かれました。

12月7日
北翔大学健康福祉学科
社会福祉士の仕事



権利擁護係長
堀込

北翔大学生涯スポーツ学部健康福祉学科3年生に向けた社会福祉士受験対策授業の一環として、社協の業務と地域との関わり、仕事のやりがいや大切にしていることなどについてお話する機会をいただきました。

この機会をいただくようになって今年で6年目になりますが、社会福祉士として福祉の現場で働くことに魅力を感じてもらえたらと思いい毎回お受けしています。

資格取得に向けて取り組む学生さんの力に少しでも

なることができればと思っ
ています。

12月8日
聚楽学園定例学習会
生活困窮者
自立支援事業



くらしサポートセンターえべつ
主任相談支援員
本間

江別市聚楽学園定例学習会にて生活困窮者自立支援事業(くらしサポートセンターえべつの取組み)についてお話する機会をいただきました。

生活に困窮されている家庭(世帯)の多くは、多様な課題を抱え、その背景には複雑な問題が見られます。地縁や血縁関係、仕事を通じた「つながり」の希薄化により、社会的にも孤立してしまいい、制度の狭間におかれた生活困窮者に対し、早期の段階で支援の手を差し伸べるこ
とが重要となります。

確実な支援につながるよ
うにするためには、地域全体

で包括的に支援して行くこ
とが大切となることをお伝
えさせていただきました。

12月13日
北翔大学健康福祉学科
自分を豊かにする
ボランティア



地域福祉係
ボランティア担当
桃野

北翔大学生涯スポーツ学部健康福祉学科1年生の基礎教育セミナーⅡの講義にて、「自分を豊かにするボランティア」というテーマでボランティア活動の意義や江別市内のボランティア活動の現状などをお話してきました。

ボランティアは社会や人のためだけではなく、自分自身の成長や豊かさにつながることを、実際の研究データなどを交えながらお伝えしました。

今回の講義が、ボランティア活動への興味関心や、ボランティア活動参加へのきっかけ作りになれば幸いです。

成年後見制度講演会を開催しました

笑って 深める成年後見

～暮らしに役立つ成年後見制度とは？～



令和4年10月29日、市民会館小ホールにて「笑って深める成年後見～暮らしに役立つ成年後見制度とは～」と題して講演会を開催しました。

例年、市民向けの講演会として「制度を楽しく学ぶ」をテーマに開催しており、今回で5回目の開催となりました。

講師の林家とんでん平さんは、初代林家三平氏のお弟子さんということで、つかみは三平さんのモノマネと落語で一席。その後、成年後見制度の利用対象となり得る事例をもとに、登場人物の関係を上下(かみしも)をつけながら、落語特有の表現で、わかりやすくお話いただきました。

※「上下[かみしも]をつける」とは2人の人物を登場させる場合、顔を左右にふることで2人を区別すること。

講師 落語家・手話落語家

林家 とんでん平さん



地域貢献・社会貢献の
カタチ

社協は「地域に貢献したい」の 架け橋になります！

9/21

生活困窮者へ食料品寄贈
株ダイナム様

食料品を社協に寄贈いただきました。

緊急食料支援に活用させていただきます。



9/27

介護用電動ベッド寄贈
江別ロータリークラブ様

介護用電動ベッド1台を社協に寄贈いただきました。

福祉機器貸与事業に活用させていただきます。



10/2

福祉活動に役立てて
えべつカラオケ振興会様

第7回チャリティえべつカラオケ大会の益金を社協に寄付いただきました。



第4期地域福祉実践計画 令和3年度事業を評価

社協合同部会が、第4期地域福祉実践計画における令和3年度事業について49の個別事業を5点満点で評価し、全ての基本計画で「予定どおり推進している」と評価しました。

《令和3年度に取り組んだ特徴的な活動》

【コロナ禍における生活困窮者の相談支援】 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、経済的困窮に陥った方への貸付・家賃補助制度を活用した相談支援業務に取り組んだ。

【権利擁護事業の推進】 成年後見制度利用促進のための「中核機関」設置に向けた準備を進めるとともに、法人後見事業に積極的に取り組んだ。

【大雪時の福祉サービス提供対応】 昨冬の大雪時、道路状況が悪い中でも生活維持のために必要な給食サービスや間口除雪、玄関通路の除雪を計画通り行うことができ、役割を果たすことができた。

【地域の支えあい活動の支援】 コロナ禍においても地域の繋がりを絶やさないため、愛のふれあい交流事業助成金の柔軟な活用を提案した。

第4期地域福祉実践計画 令和3年度事業基本計画の評価

| 基本計画の主な内容 | 評価点 |
|---|-----|
| 基本計画1 地域福祉に関する情報提供や包括的な相談体制による支援 広報誌の発行、生活困窮者自立支援のための「くらしサポートセンターえべつ」での相談事業の実施、成年後見実施機関の運営や法人後見の実施、生活福祉資金貸付など12事業 | 3 |
| 基本計画2 ボランティア活動で進める福祉の環境づくり ボランティア活動の相談・登録・活動先紹介など5事業 | 3 |
| 基本計画3 市民参加で進める地域での生活支援や交流活動の促進 愛のふれあい活動、共同募金運動への協力など5事業 | 3 |
| 基本計画4 体験学習、研修による福祉意識の醸成 ワークキャンプや学校での総合的な学習の時間への協力など5事業 | 3 |
| 基本計画5 自立した生活を支援する福祉サービスの提供 除雪サービス、給食サービス、視覚障がい者へのガイドヘルパーの派遣、農村地域での保育園の運営や福祉機器の貸与など7事業 | 3 |
| 基本計画6 地域に信頼される社協運営のための組織づくり 行政との連携、職員の資質向上、総合社会福祉センターの運営など15事業 | 3 |

評価方法：個別事業を5段階で評価した後、基本計画ごとに平均点を算出(四捨五入)したものを評価点としています。

| | |
|------|------------------------|
| 5～4点 | 予定を上回り推進している |
| 3点 | 予定どおり推進している |
| 2～1点 | 順調に推進されなかった、全く推進されなかった |

非常勤職員募集

社協では、令和5年度採用の非常勤職員を募集します。事務局職員が丁寧な業務をサポートします。「応募をお待ちしています」。

【応募資格（次の要件を全て満たす方）】

- ・高等学校卒業以上の方
- ・パソコンのワード・エクセルの基本操作ができる方
- ・普通自動車免許を有する方

【勤務先、採用人数及び採用期間】

江別市社協事務局 1人

令和5年4月1日～令和6年3月31日

* 次年度へ雇用契約更新の可能性有り

【業務内容】

主に、生活に困窮する世帯からの相談支援に関する業務を担当するほか、地域福祉事業の補助及びパソコン操作による文書や名簿作成、窓口受付、電話対応等に従事します。

【給与・保険など】

給料月額16万1千円、時間外手当・通勤手当・期末手当支給、健康・厚生年金・雇用・労災保険加入、有給休暇10日、その他の勤務条件は当協議会規程による。

【勤務時間、休日】

週38時間45分(5日間)、休日は土・日・祝日・年末年始

【応募方法、採用試験及び問合せ先】

令和5年1月27日(金)までに顔写真添付(3カ月以内撮影)の履歴書を提出してください(郵送の場合は、1月27日消印有効)。職歴がある場合は詳しく記載してください。2月上旬～中旬面接試験を行います。

詳細は、社協 ☎385・1234へお問合せいただくか、ホームページをご覧ください。

社会福祉法人 英寿会

『英生塾』
受講生募集!!

「安心・安全・地域と共に」をスローガンに「頑張る人」を応援致します

- 介護職員初任者研修(昼間・夜間通学コース)
- 介護福祉士実務者研修(9・11・2月度コース通信課程)

英生塾事務局

〒069-0832
江別市西野幌92番地16
電話 (011) 375-7757
FAX (011) 375-7767
(お気軽にお問い合わせ下さい)

英寿会 事業所

特別養護老人ホーム えぞりすの杜 ☎887-6333
地域密着型介護老人福祉施設かっこうの杜 ☎391-9111
ショートステイくまげら ☎391-9111
小規模保育施設 ふくろうの森 ☎398-5568
小規模保育施設 ぞうさんハウス ☎384-2280
小規模保育施設 あかとんぼの森 ☎398-9234

野幌病院 JR野幌駅前
TEL 382-3483

| | |
|-------------------------|--------------|
| 野幌病院 地域医療相談室 | TEL 381-2643 |
| 介護老人保健施設 老健のつぼろ | TEL 381-1133 |
| 老健のつぼろ通所リハビリテーション | TEL 381-1177 |
| 在宅介護相談えべつ 英生会ケアプランセンター | TEL 381-8858 |
| 訪問看護ステーション のつぼろ | TEL 381-7877 |
| 訪問リハビリテーション科 | TEL 381-1193 |
| 英生会グループホーム ゆめみの | TEL 391-3119 |
| 小規模多機能ホーム ゆめみの | TEL 391-3229 |
| 江別第二地域包括支援センター(江別市委託事業) | TEL 389-5420 |

【貸付資金】 社協では、各種貸付事業を行っています。貸付条件などの詳細はお問合せ下さい。【特別生活資金】燃料費など冬の生活費、限度額5万円、連帯保証人必要 【教育支援資金】高校入学などの入学金や授業料、民生委員による調査有、他制度利用を優先 【福祉金庫】一時的な生活困窮時の生活費、限度額4万円、連帯保証人必要

ボランティアによる悩みごと電話相談

社協登録ボランティア団体の相談員が悩みごとをお聞かせします。

【相談無料】

なやみゼロ
☎389-7830

| 相談日 | 相談時間 | 相談名・内容 | 担当団体名 |
|-------------------|------------|---------------------------------------|------------------|
| 毎週 火曜日 | 10時～15時 | 悩みごとテレホン相談 ▶ 家庭生活の諸問題に関する相談 | 江別家庭生活カウンセラーグループ |
| 第2・4 水曜日 | 10時～14時30分 | にこにこ相談室 ▶ 家庭生活の諸問題に関する相談 | 江別市家庭問題研究会 |
| 毎週 木曜日 | 10時～15時 | 認知症の悩みごと相談 ▶ 認知症の悩みごとに関する相談 | 江別認知症の人の家族を支える会 |
| 第1・3・5 金曜日 | 10時～14時30分 | 悩みごとテレホン相談 ▶ 家庭生活の諸問題に関する相談 | 江別市家庭問題研究会 |

善意のご寄付
ありがとうございました

令和4年9月1日～11月30日
(敬称略・順不同)

社会福祉基金

▼趣旨に賛同して
三和電工株式会社 10,000円、匿名 50,000円

▼チャリティ・イベントの益金・売上など
えべつカラオケ振興会 50,000円、江別・野幌地区女性団体協議会 10,000円

▼つもり募金

道央農業協同組合江別支店 10,771円、セイコーマート 豊幌 2,288円、セイコーマート やよい 9,579円、レストラ アンカギ 5,999円、マキシンドルパ 1,451円、北海道信用金庫五丁目支店 2,180円、青年センター 5,688円、林数男商店 7,477円、ビューティサロン毛内 7,741円、清美湯 2,078円、松乃湯 1,771円、ホクレンショップゆめみ野店 6,330円、あおい 7,488円、道央農業協同組合野幌支店 5,833円、北海道信用金庫野幌支店 1,244円、セイコーマート東野幌店 4,095円、ミニマニーストア山田 2,599円、早川薬院7丁目店 3,140円

円、東野幌体育館 8,988円、パークゴルフ練習場 2,666円、煉化もち本舗 2,282円、北海道消防学校 5,600円、江別市総合社会福祉センター 14,874円、大麻出張所 5,158円、大麻体育館 3,157円、大麻公民館 1,627円、池永クリニック 1,777円、ホクレンショップ大麻北町店 4,023円

一般寄付金

▼趣旨に賛同して
東インターゴルフクラブ 20,535円

▼チャリティ・イベントの益金・売上など
江別美術協会 38,600円

社協会長
おじゃましました

9月～11月

江別シルバークワイーク開会式、創立70周年記念江別市女性大会、第2回道社協監査、第2回道社協理事會、第2回道社協行政審議會、第3回道社協行政審議會、令和5年度市長要望



福祉センターからの
お知らせ

社協ホームページからの貸室予約はこちらから



開館日時

月曜日 9時～17時
火曜日 9時～21時

※月曜日が祝日の日は、休館します。火曜日曜日は、祝日も開館しています。なお、新型コロナウイルス感染症対策のため休館になる場合があります。最新情報はホームページでご確認下さい。

休館日(年末年始、1～3月)

12月29日(木)～1月3日(火)
1月9日(月)

新役員・評議員の
お知らせ

(敬称略)

【理事】佐藤レイ子(江別市赤十字奉仕団)

【評議員】佐藤学(江別市教育委員会)、中津勝則(江別市ボランティア団体連絡会)

社協事業ご案内
在宅高齢者給食サービス

夕食(週1回以上～)
配達します

安否確認も



1食 520円

問合せ

地域福祉係
☎385-1234

江別の皆様とともに
地域の発展に貢献します

EPA 江別印刷業協同組合

〒067-0031 江別市元町32番地2 笹岡印刷(株)内
TEL・FAX (011) 389-6730

| | | | |
|-----|--------------|-------------------|-----------|
| 組合員 | (有)ア・ノ研究社 | 笹岡印刷(株) | (株)のっぽる印刷 |
| | (有)トラスティプリント | 藤塗装工業(株) | (有)山田印章印刷 |
| | アスカ印刷 | (賛助会員) (有)くらしの新聞社 | |

税の優遇 個人や法人の社協への会費・寄付金及び共同募金寄付金は、法令などで定める要件に該当した場合、法人税・所得税・個人住民税の優遇(軽減)措置があります。

社協会費 社協会費納入者は、年度分をまとめて7月号で掲載します。

ボランティア 掲示板

生活支援体制整備事業

江別市内の通いの場情報！地域の活動を紹介します



囲碁研究会

開催日時 毎週月曜日 9時00分～12時00分
 場所 いきいきセンターさわかち 2階 娯楽室
 (大麻沢町5-6)
 参加費 無料
 連絡先 ☎382-4795 (代表・渡部^{わたなべ})



囲碁研究会は、もともと女性のための囲碁教室から始まりました。現在は最年長の花岡さんをはじめ男性も加入され、研究会として時折戦術の研究を行いながらも勝ち負けにこだわり過ぎず、何よりも楽しく活動することを大切にしています。

囲碁は、日常生活とはまた違った脳の部分を使って考える楽しさが魅力。対局中は集中した静かな時間が流れますが、お話を伺っている時はみなさんで思い出を振り返りながら何度も笑い声が上がり、和気あいあいとした楽しい雰囲気伝わってきました。立ち上げ当初から参加している渡部さんと小沼さんは、続けてこられた理由を「行けば仲間がいるから楽しくて」と笑顔で話してくださいました。

現在、継続して参加できる方は4名と少なく、一緒に碁を打てる方を募集中です。毎週月曜日、会費は無料で出入りは自由。初心者の方も大歓迎！囲碁歴の長い三村さんがしっかり教えてくださいます。まずは見学・体験から、ぜひ参加してみませんか。

江別市ボランティア団体連絡会

ボランティア会員団体を紹介します



連絡先 (担当: 佐藤)
<https://shezrokuri.com>
 TEL 080-6081-4186
 e-mail wants512@gmail.com

NPO法人シェロクリは、元々「えべつ未来コミュニティ」という名称で活動していましたが、より継続可能な活動を行うため、令和4年3月の法人化と共に現名称に変更しました。そして、同年8月に社協のボランティア団体に登録をしています。

当法人は、江別市内における地域活動やボランティア活動を支える地域コミュニティの運営に関する事業を行い、まちづくりのICT化、地域の活性化を推進し、豊かな地域社会の実現に寄与することを目的として活動しています。

初年度である今年度は、当法人の目的に賛同していただける非営利団体に対して、従来の連絡手段である電話・FAXから、スマートフォンやパソコンで連絡が取れる手段への移行のお手伝いを行っています。また、コロナ禍においては、対面で接触をせずとも情報共有が行えるシステムが必要と考えており、そのシステムの確立や地域への拡がりを図っています。

興味・関心のある方は、お気軽にお問い合わせください。



編集後記

令和5年、新年を迎え謹んでお慶び申し上げます。

昨年コロナ感染症に悩まされた一年でしたが、年末頃よりどうしたらウィズコロナで活動していけるかと意識が変わりつつ、日本初の飲み薬も手に届くところまできました。今年こそはと期待される場所です。

さて、社協では出前講座を行っています。職員4名が大学へ出講し「福祉の学び」を講義させて頂きました。また学習会では「事例から考える移動の自助と互助」を開催いたしました。参加者からは、これからの移動手段を考えるきっかけになりましたとの感想もいただきました。

当社協も、ますます市民の皆様役に立ちますよう必要とされる情報を必要な方へ届きますように努めてまいります。本年は、皆さんと楽しく「通いの場」が大きな輪となって広がることを願っております。

広報編集委員会副委員長

三橋 満和子

赤い羽根共同募金は、社協だよりも役立てられています

